

偶成

朱熹

少年易老学難成 一寸光陰不可輕
未覚池塘春草夢 階前梧葉已秋声

『少年老い易く、学成り難し。一寸の光陰、軽んずべからず。未だ覚めず池塘春草（ちとうしゅんそう）の夢。階前（かいぜん）の梧葉（ごよう）、已（すで）に秋声（しゅうせい）』

若い時はうつろいやすいもので、あっという間に歳をとる。しかし、学問はなかなか成就しない。だからこそ、わずかな時間さえも無駄にしてはならない。池のほとりの春草が萌え出る夢も覚めぬうちに、もう庭先の青桐の葉が秋の訪れを告げているのだから。

二月十五日（金）は二年生の立志式の日です。将来の自分を発見し、出会ういいチャンスです。

宇部市立藤山中学校

海頭 巖

